RE:風土Lab モニターツアー

Forest Neighbors

コーラと焚き火と、森のはなし

蛇口をひねれば、当たり前のように水が出る。
いつもそばにある紙。
そんな日々のなかで、森を思い浮かべる時間は、
どれくらいあるでしょうか。

日本の国土の約3分の2は森林。
京都丹波は、さらに森林の割合が高い地域です。

クラフトコーラを片手に焚き火を囲んで、おしゃべりしながら。
暮らしと森の、ちいさなつながりを見つけにいきませんか。

INFORMATION

日程 12月5日(土) 9:30 - 16:30
(JR亀岡駅北口ロータリー集合・解散)

会場 亀岡市 千歳エリア
(彼岸山 Honey Woods / KIRI CAFE)

定員 20名程度

参加費 7,500円(お弁当・イベント保険込み)

服装・持ち物 森で動きやすい服装・靴・お飲み物
お持ちの方は、軍手・マイ箸・コップ
※雨天の場合は、加えて雨具・タオル等のご準備をお願いいたします。

お申し込み〆切 11月30日(月) 18:00

お申し込み
参加のお申し込みはQRコードをご確認ください。

TIME TABLE

Let's go!

9:30
JR亀岡駅
北口ロータリー出発
※本ツアーはマイクロバス(無料)での移動となります。

10:00
彼岸山 Honey Woods
- 里山の再生活動に触れる
- 森の恵でクラフトコーラをつくる
- はちみつテロワール体験
- 焚き火を囲んでランチタイム

13:00
KIRI CAFE
- 森で見つけたものをアート作品に
リソグラフ印刷でオリジナルポストカードをつくります
- クロージングトーク
【〈森〉と〈暮らし〉のつながりを話してみよう】

16:30
JR亀岡駅
北口ロータリー解散

LECTURERS



南丹 Wildlife Tours
Wildlife forester
榎本 拓司 さん

和歌山出身、2014年に南丹市へ移住。里山管理、造園、野生動物の保護管理などに携わる。2021年から「南丹Wildlife tours」という屋号で、地域と森林の資源を活かし"人と野生動物が互恵共存できる地域の未来をつくる"を理念に掲げ活動。体験プログラムや多様な価値をつくる森づくりを展開。



彼岸山 Honey Woods
養蜂家
中島 拓 さん

1975年生まれ、亀岡市出身。信州大学農学部卒。幼い頃から自然や生き物に慣れ親しみ、コンサルタントとして動植物の調査や環境教育などに携わり、2025年より養蜂業に専念。25年以上にわたる里山再生の活動を経て、セイヨウミツバチが健康に生育する環境づくりを行っている。



TOTTE
(WONG Chung Wah + FOK Ching)

香港出身、京都在住のWONG Chung Wah(デザイナー／アーティスト)とFOK Ching(アーティスト)によるユニット。領域横断の媒介と展示手法を用い、人とものの間にある掴むところとして、日常の営みの中で共創の場を開いていく。

主催 一般社団法人 森の京都地域振興社
協力 北林佳奈・平野恵理 (RE:風土Lab 参加者)

運営・企画に関するお問い合わせ 一般社団法人Fogin(担当:並河) fogin616@gmail.com